

# WRO 2021 大阪ベーシック大会 Online

## 競技ルール Rev.1.1

### 【はじめに】

WRO 大阪ベーシック大会（小学生部門）は、ロボット学習の初学者を対象とした競技内容になっています。小学生が同じフィールドでロボット機構の製作やプログラム制御の基礎技術を確認する内容になっています。

※以下に記載のない競技規定等については「WRO Japan 2021 大阪公認予選大会 参加規約-Rev. 1.0」及び「WRO Japan 2021 大阪公認予選大会 共通ルール Online ルール-Rev. 1.1」に準拠するものとする。

### 【競技規定】\*\*\*\*\*

- ① ロボットの調整およびプログラミング調整時間  
低学年の部：1回目（35分間）、2回目（25分間） 高学年の部：1回目（30分間）、2回目（20分間）
- ② 競技時間は2分間。2分を過ぎた時点で競技は終了となる。
- ③ 競技スタート後にロボットや競技フィールド内にあるオブジェクトに触れた場合や、チームの代表者がリタイア宣言した場合、その時点で競技は終了となる。その時点でゴールゾーン内にロボットがある場合でも、ゴールは認められない。競技終了時点までの得点計算となる。
- ④ 審判のスタート合図で“1回のみ”本体のスタートボタンを押すことができる。  
スタートに失敗しても再度ボタンを押すことはできない。ゴールゾーン内にロボットがある場合でも、ゴールは認められない。
- ⑤ タイム計測は、1/100秒は切捨て1/10秒までをタイムポイントとする。

### 【ロボット規定】\*\*\*\*\*

- ① ロボットはスタート時に250×250×250mm以内とし、スタート後に自動変形することが可能です。
- ② ロボット・ソフトウェアの規定については、WRO Japan 2021大阪公認予選大会（エキスパート競技、ミドル競技）共通ルール Online ルール-Rev.1.2 5. 機材【ミドル競技】に準拠するものとする。
- ③ 各ルールにおけるロボット本体とは、ワンチップマイコンを搭載した制御部本体をさす。また、ロボット全体とは、以下の通りとする。  
・ミドル競技：ケーブルを除くロボットを構成する全てのパーツをさす。
- ④ ロボットおよびプログラミングは制作したものを持参する。
- ⑤ プログラミングの規定については、WRO Japan 2021大阪公認予選大会（エキスパート競技、ミドル競技）共通ルール Online ルール-Rev.1.2 9. ロボット組み立て、プログラム実装規定に準拠するものとする。

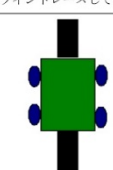
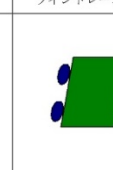
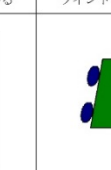
### 【ミッション】\*\*\*\*\*

競技フィールドのスタートゾーンからロボットがスタートし、ライトレースしてゾーンBに移動する。ロボット本体（NXT, またはEV3 本体）が完全にゾーンBに入ったあと、ゾーンAに移動しロボット本体（NXT, またはEV3 本体）が完全にゾーンAに入ること。その後、ゴールゾーンにもどること。スタート&ゴールエリアにロボットが完全にいった時点でゴールと判定し、タイムを止める。動いていてもゴールとする。

※サブライズルールは大会当日発表される。

### 【注意事項】\*\*\*\*\*

- ① 競技フィールドのスタートからゾーン B までは、必ずライトレースを行うこと。（右図参照）
- ② ライトレースを行わず競技を終了した場合、ゴールゾーン内にロボットがある場合でも、ゴールは認められない。

ライトレースしている	ライトレースしている	ライトレースしていない
		
接地部分が黒ラインの両側にある	接地部分が黒ライン上にある	接地部分すべてが黒ラインの片側にある

